



1月給食だより



3学期がはじまります!

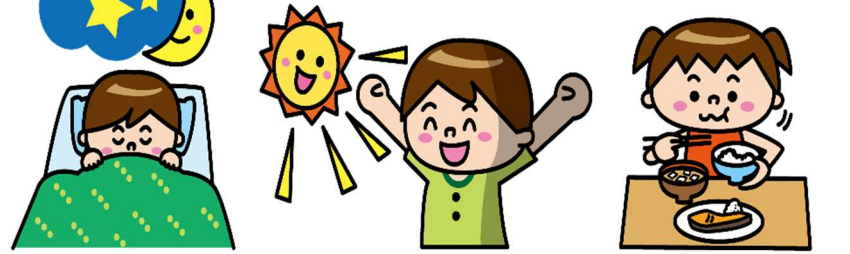
あけましておめでとうございます。今年も子供たちが健やかに成長できるよう、安心安全で美味しい給食作りに努めますのでよろしくお願い致します。みなさんも苦手なものにも、どんどんチャレンジしてください。

冬休みにごちそうをたくさん食べたり、夜おそくまで起きていたり、生活リズムが乱れてしまった人も多いのではないのでしょうか。3学期も元気に登校できるように、「早寝・早起き・朝ごはん」を実践して規則正しい生活リズムを取り戻しましょう! また、インフルエンザやノロウイルスも流行する季節です。外から帰ってきた時や食事の前には、うがい・手洗いを忘れずにしましょう。

生活リズムを整えるために.....

夜は早めに寝る 朝起きたときに 朝ごはんをよく

日光を浴びる 飲んで食べる



1月24日~30日は、全国学校給食週間です!

明治22年に山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の私立忠愛小学校で、貧しくてお弁当を持ってこない子供たちのために昼食を提供したことが、学校給食の始まりとされています。その後、学校給食の取り組みは全国へと広がりましたが、昭和16年に太平洋戦争が起こり、少しずつ食料不足となり給食を提供することができなくなっていきました。

戦後、子供たちの栄養状態の悪化が心配されたことから、学校給食の必要性が叫ばれるようになり、アメリカの民間団体(ラウ)から送られた物資で給食を再開することになりました。このことを記念して設けられたのが「全国学校給食週間」です。

今では豊富にある食べ物ですが、当時は大変貴重なものでした。この1週間は昭和によく食べられていた給食や日本で最初の給食メニュー(明治時代)を少しアレンジして出します。ぜひご家庭でも、保護者や祖父母の皆様が食べていた給食の思い出を子供たちに話してあげてください。



学校給食の移り変わりを見てみよう!



明治22年

お寺の中に開校された私立忠愛小学校の献立の一例。米飯と野菜や魚のおかずが中心でした。

戦後(昭和20~30年代)

パン・ミルク・おかずが基本で、外国などから送られた支援物資の脱脂粉乳や小麦などを使って作られました。

現在

郷土食や行事食を取り入れるなど、バラエティー豊かです。また、バランスの良い食事のお手本となるよう、「教材」としての役割も担っています。